平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年6月　日記入

基本目標	躍動し　魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	32320
政策名（章）	第2章　質の高い都市基盤の整備を進めます	評価担当局	都市建設局
基本施策名（節名）	第3節　円滑な道路交通の確保	施策所管課	道路管理課
施　策　名	道路管理の充実	課長名	深津孝良

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

道路管理の充実に向け、市道の境界確定等により道路台帳の整備を進め、総合的な道路情報を網羅した道路情報管理システムの開発に取り組むとともに、道路環境の向上を図るため不正占用の適正化の推進や不法投棄物等の抑止による道路愛護意識の高揚を図る。

・道路境界整備・確定事業
・道路情報管理システム業務委託
・路上放置自動車等撤去委託　等

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	279,041	314,995	合併に伴い、津久井地域における整備事業費等が増大したもの及び地方交付税の算定基礎数値となる道路台帳平面図調製のため。
人件費	153,594		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	418	446	
合計	432,635	314,995	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

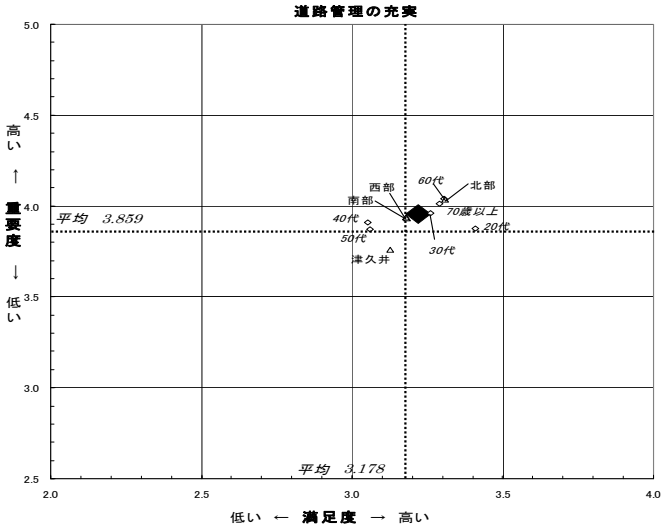
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	道路台帳整備実施率（%）	道路台帳整備実施延長÷市道認定延長×100（H17実施延長：1,588,880m、認定延長：1,664,945m）	実績から考慮した。（旧相模原市内）
指標2	道路台帳整備実施率（%）（津久井地域）	道路台帳整備実施延長÷市道認定延長×100（H18実施延長：125，373m（城山分）、認定延長：458，923m）	H18年度の合併に伴う、旧4町の実績を考慮した。（津久井地域）
指標3	道路上における不法投棄物等の苦情・要望への対応率（%）（放置車両は除く）	対応箇所数／苦情・要望箇所数×100	市民苦情・要望に対応する。（放置車両撤去は手続きに相当な期間を要する為除く）
指標4	**道路台帳整備実施率（%）（指標1・2の統合）**	**道路台帳整備実施延長÷市道認定延長×100（H18実施延長：1,726,354m、認定延長：2,128,101m）**	**実績から検討する。**
指標5			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：%）	H17	95.4	96.0	96.8	97.0		97.5		98.0	
事業費/人員										
指標2（単位：%）	H18	27.3	28.0	28.1	28.5		29.0		29.5	
事業費/人員										
指標3（単位：%）	H17	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0		100.0	
事業費/人員										
指標4（単位：%）										
事業費/人員										
指標5（単位：%）										
事業費/人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は3.219で121施策の中で35番目。
〇重要度は3.954で50番目である。
〇改善要望度は0.0379で52番目である。
〇年齢別にみると、満足度は20代で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は60代で最も高く、50代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	(4) 2　1	4 (2) 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	(4) 2　1	4 (2) 1	
合計		8	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 A

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	旧相模原市の区域は道路境界が国家座標により正確に決まっており、道路台帳がほぼ整備されているが、津久井地域は国家座標と連動した座標管理をしていないために道路台帳の整備が遅れている状況である。
解決策	津久井地域において、平成19年度に道路台帳整備の基本となる1級・2級基準点についての調査を行い整備計画を作成した。これにより、平成20年度に1級・2級基準点を設置し、平成21年度からこの基準点を基に津久井地域の道路台帳整備を進める予定である。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

市民にわかりやすい指標設定を行う必要がある ⇒指標4に「道路台帳整備実施率」を追加設定した。	2次評価 A

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

	3次評価 A

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

道路管理の充実

コード	32320

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
道路補修課	道路点検パトロール経費	641	695	695	3	7	0.10	696	1,501
~~土木システム推進室~~	~~市道認定路線再編成事業~~					~~8~~	~~0.16~~	~~0~~	~~1,288~~
道路管理課	廃道路敷等測量委託	742	3,800	3,800	1	4	0.08	955	1,599
~~土木計画課~~	~~相模原市みちの協会補助金~~					~~6~~	~~0.01~~	~~80,042~~	~~80,123~~
道路管理課	路上放置自動車等撤去委託	6,127	8,238	8,238	3	5	1.44	6,663	18,255
土木システム推進室	道路情報管理システム業務委託	110,693	136,400	120,000	1	3	6.00	53,388	101,688
道路管理課	道路境界整備事業	95,882	100,900	104,300	1	1	1.21	72,585	82,326
津久井建設課	道路境界整備事業	12,631	13,200	13,200	2	1	0.50	2,566	6,591
相模湖建設課	道路境界整備事業	2,898	1,800	25,200	2	1	2.00	1,418	17,518
道路管理課	道路境界確定事業	60,877	63,389	63,000	1	2	4.08	54,748	87,592
津久井建設課	道路境界確定事業	7,601	9,654	9,654	2	2	1.50	4,294	16,369
相模湖建設課	道路境界確定事業	3,136	4,000	4,000	2	2	2.00	1,686	17,786
津久井建設課	廃道路敷等測量委託	2,522	3,000	3,000	2				0
相模湖建設課	廃道路敷等測量委託	0	200	200	2				0
城山建設課	廃道路敷等測量委託	0	600	600	2				0
藤野建設課	廃道路敷等測量委託	1,810	3,300	3,300	2				0
城山建設課	道路境界整備事業	1,943	2,600	2,600	2				0
藤野建設課	道路境界整備事業	0	0	1,500	2				0
城山建設課	道路境界確定事業	2,048	2,520	2,520	2				0
藤野建設課	道路境界確定事業	5,444	6,470	6,470	2				0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		314,995	360,766	372,277			19.08	279,041	432,635